



2023年11月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月15日

上場会社名 川口化学工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4361 URL https://www.kawachem.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山田 秀行
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 本間 義隆 (TEL) 048-222-5171
 定時株主総会開催予定日 2024年2月22日 配当支払開始予定日 2024年2月26日
 有価証券報告書提出予定日 2024年2月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年11月期の連結業績 (2022年12月1日～2023年11月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|-----------|-------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2023年11月期 | 8,610 | 2.9 | 353 | 20.4 | 344 | 13.8 | 255 | 16.8 |
| 2022年11月期 | 8,368 | 5.4 | 293 | △22.8 | 302 | △21.5 | 218 | △22.2 |

(注) 包括利益 2023年11月期 287百万円 (31.0%) 2022年11月期 219百万円 (△30.7%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|-----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| | 円 銭 | 円 銭 | % | % | % |
| 2023年11月期 | 209.88 | — | 10.1 | 4.1 | 4.1 |
| 2022年11月期 | 179.75 | — | 9.4 | 3.7 | 3.5 |

(参考) 持分法投資損益 2023年11月期 一百万円 2022年11月期 一百万円

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|-----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2023年11月期 | 8,340 | 2,638 | 31.6 | 2,167.14 |
| 2022年11月期 | 8,321 | 2,411 | 29.0 | 1,980.62 |

(参考) 自己資本 2023年11月期 2,638百万円 2022年11月期 2,411百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|-----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 |
| 2023年11月期 | 469 | △370 | 20 | 1,043 |
| 2022年11月期 | △20 | △242 | △162 | 910 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 百万円 | % | % |
| 2022年11月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 | 60 | 27.8 | 2.6 |
| 2023年11月期 | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 | 60 | 23.8 | 2.4 |
| 2024年11月期(予想) | — | 0.00 | — | 50.00 | 50.00 | | 30.4 | |

3. 2024年11月期の連結業績予想 (2023年12月1日～2024年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|-----------|-------|-----|------|-------|------|-------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 4,500 | 7.0 | 140 | △10.5 | 140 | △10.4 | 90 | △25.5 | 73.92 |
| 通 期 | 9,000 | 4.5 | 300 | △15.2 | 300 | △12.9 | 200 | △21.7 | 164.28 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
新規 一社、除外 一社 : 無

期中における重要な子会社の異動に関する注記

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に関する注記

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-----------|------------|-----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2023年11月期 | 1,220,000株 | 2022年11月期 | 1,220,000株 |
| ② 期末自己株式数 | 2023年11月期 | 2,531株 | 2022年11月期 | 2,531株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2023年11月期 | 1,217,469株 | 2022年11月期 | 1,217,552株 |

発行済株式数に関する注記

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P2「1. 経営成績等の概況」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|----------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (会計方針の変更) | 12 |
| (セグメント情報等) | 12 |
| (1株当たり情報) | 15 |
| (重要な後発事象) | 15 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く事業環境は、世界的な金融引締め政策の継続、長期化するウクライナ情勢に加え中東における地政学的緊張の影響、中国経済の低迷もあり景気回復のペースに鈍化がみられました。

米国では、個人消費や労働市場の回復を背景に景気は堅調に推移しました。一方、中国においては不動産市場の悪化、需要の低迷により景気は減速しました。欧州でも、資源価格の高騰と賃金の上昇などインフレが継続し景気が低迷しました。アジア地域においても世界経済減速による輸出減少により景気の低迷が続きました。

国内経済は、個人消費の増加、インバウンド拡大による経済活動の持ち直しにより緩やかに景気が回復しております。また、円安傾向は総じて企業業績を後押し、資源、エネルギー価格上昇分を製品販売価格へ転嫁する動きも広がりました。

当社グループに関係の深い自動車産業においては、日本国内では供給制約の緩和と需給バランスの改善を背景に自動車生産は増加傾向で推移しました。中国市場において日系自動車メーカーは、EV需要の加速によるガソリン車販売低迷の影響を強く受けました。

このような環境の中、当社グループにおきましては、成長と企業価値向上を位置付けた中期経営計画(第121期)「2022」から第125期)「2026」に取り組んでおり、既存事業の強みを最大限に活用し、受託合成品の拡大、品質、技術に優位性を持つ医療用ゴム用途製品では、市場ニーズを捉えた環境規制対応型ゴム薬品の開発提案、当社が得意とする合成技術を活用し電子材料市場に新製品を投入し成果を上げる等、成長分野での市場拡大に経営資源を積極的に投入いたしました。

ゴム薬品の販売は、中国をはじめとする海外市場における景気低迷の影響を受けましたが、国内自動車生産の回復により売上は前期を上回りました。樹脂薬品の販売は、国内海外ともに需要が低迷し売上は前期を下回りました。中間体、その他薬品の販売については、売上は前期を上回りました。

これらの結果、当連結会計年度の財政状態及び経営成績は以下のとおりとなりました。

(a) 財政状態

当連結会計年度の資産合計は83億40百万円(前期比0.2%増)、負債合計は57億2百万円(同3.5%減)、純資産合計は26億38百万円(同9.4%増)となりました。

(b) 経営成績

当連結会計年度の売上高は86億10百万円(前期比2.9%増)、営業利益は3億53百万円(同20.4%増)、経常利益は3億44百万円(同13.8%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は2億55百万円(同16.8%増)となりました。

セグメント業績の概況は次のとおりであります。

I. 化学工業薬品事業

売上高は85億72百万円(前期比2.9%増)、セグメント利益(営業利益)は3億23百万円(同22.7%増)となりました。

II. 不動産賃貸事業

売上高は38百万円(前期比0.6%増)、セグメント利益(営業利益)は30百万円(同0.8%増)となりました。

(化学工業薬品事業の部門別の概況)

<ゴム薬品>

ゴム薬品の部門において、国内の工業用品向け製品は、半導体不足等の供給制約が緩和し自動車生産の回復、自動車ゴム部品関連企業向け製品の売上は増加しました。タイヤ向け製品は、原料価格高騰により競争力が低下しシェアを失った製品もあり販売数量は前年を下回りましたが、原料、エネルギーコスト上昇分を製品価格に転嫁できたこともあり、売上は前期並みを確保しました。合成ゴム向けは、自動車生産の回復により販売が回復した製品もありますが、全体では海外需要低迷による顧客における生産調整の影響を受け売上は前年を下回りました。医療用ゴム用途向け製品は、顧客での在庫調整もあり売上は前年を下回りました。

海外向けは、中国市場における景気低迷の影響を受け、販売数量は減少しましたが、コスト上昇分を製品価格に転嫁できたことにより、売上高は前期並みを確保しました。

この結果、国内・輸出合わせてのゴム薬品部門合計の売上高は45億52百万円(前期比0.4%増)となりました。

<樹脂薬品>

樹脂薬品の部門は、アクリル酸・アクリル酸エステルの需要が低迷し主要顧客での稼働が低下したことにより、当社主要製品である重合防止剤の売上は、国内向け、海外向け共に減少しました。加えて、電子材料関連での需要回復の遅れもあり、売上高は前期を下回りました。

この結果、樹脂薬品部門合計の売上は9億9百万円（前期比16.1%減）となりました。

<中間体>

中間体部門においては、医薬中間体は、当社主力製品である医療用途脱水縮合剤の製造販売に注力、売上は国内を中心に前期を上回りました。界面活性剤中間体は、主要製品の需要が回復したことにより売上は前期を上回りました。染料中間体は、急速な需要の減少がありましたが、通期では前期並みの売上を確保しました。

この結果、中間体部門合計の売上高は13億32百万円（前期比8.9%増）となりました。

<その他>

当社が得意とする合成技術を基盤とする製品の販売に注力し、電子材料向け中間体、電子材料用途脱水縮合剤の売上を伸ばしました。環境用薬剤においては、変化する需要に迅速かつ柔軟に対応した結果、売上は前期を上回りました。新規用途向けは、一部製品の需要が低調に推移したことにより売上は減少しましたが、全体では売上は前期を上回りました。

この結果、この部門合計の売上高は17億77百万円（前期比19.5%増）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(流動資産)

当連結会計年度末における流動資産は、前連結会計年度末と比べて1億30百万円増加し、60億16百万円となりました。その主な要因は、現金及び預金が1億32百万円、受取手形及び売掛金が2億26百万円増加したことに対し、棚卸資産が1億83百万円、その他の流動資産が47百万円少したことによりです。

(固定資産)

当連結会計年度末における固定資産は、前連結会計年度末と比べて1億11百万円減少し、23億24百万円となりました。その主な要因は、有形固定資産が96百万円、投資その他の資産が16百万円減少したことによりです。

(負債)

当連結会計年度末における総負債は、前連結会計年度と比べて2億8百万円減少し、57億2百万円となりました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が1億90百万円減少したことによりです。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度と比べて2億27百万円増加し、26億38百万円となりました。その主な要因は、利益剰余金が1億94百万円増加したことによりです。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益3億42百万円、減価償却費4億5百万円、棚卸資産の減少1億83百万円による資金の増加等に対し、売上債権の増加2億26百万円、仕入債務の減少1億90百万円、法人税等の支払52百万円による資金の減少等により4億69百万円の資金の増加（前期は20百万円の資金の減少）となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得3億77百万円による資金の減少等により3億70百万円の資金の減少（前期は2億42百万円の資金の減少）となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加2億円による資金の増加に対し、長期借入金の返済1億円、配当金の支払60百万円による資金の減少等により20百万円の資金の増加（前期は1億62百万円の資金の減少）となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当連結会計年度末残高は、前連結会計年度末に比べて1億32百万円増加して10億43百万円となりました。

(参考)キャッシュ・フロー関連指標の推移

| | 2019年11月期 | 2020年11月期 | 2021年11月期 | 2022年11月期 | 2023年11月期 |
|----------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 自己資本比率(%) | 26.7 | 27.4 | 28.5 | 29.0 | 31.6 |
| 時価ベースの自己資本比率(%) | 17.6 | 16.2 | 20.3 | 21.8 | 20.9 |
| キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年) | 10.2 | 4.9 | 4.0 | — | 6.7 |
| インタレスト・カバレッジ・レシオ(倍) | 19.7 | 37.6 | 45.3 | — | 26.5 |

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／営業キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー／利払い

(注1)株式時価総額は自己株式を除く発行済株式をベースに計算しております。

(注2)有利子負債は貸借対照表に計上されている負債のうち利息を支払っているすべての負債を対象としております。

(注3)利払いについてはキャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注4)2022年11月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

今後の当社グループを取り巻く事業環境は、国内においては新型コロナウイルス感染症上の位置付けが「5類」に移行されたことにより経済活動の一層の活発化が見込まれる一方、海外においてはウクライナ情勢の長期化、イスラエル軍のガザ侵攻、資源価格の高騰、円安による急激な物価上昇等により景気の先行き不透明な状況が懸念されます。

このような状況の中、次期の連結業績見通しにつきましては、売上高90億円（前期比4.5%増）、営業利益3億円（同15.2%減）、経常利益3億円（同12.9%減）、及び親会社株主に帰属する当期純利益2億円（同21.7%減）を予想しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様への配当を第一の責務と考え、業績及び成果に基づき諸般の状況を勘案して決定することを基本方針としております。また、配当の安定かつ着実な拡大を図り、業績の維持向上のため中長期的視点から将来の事業展開に備え、内部留保による企業体質の改善と設備投資による経営基盤の強化に取り組んでまいります。

この基本方針の下、当期の剰余金の配当につきましては、期末に1株につき50円を予定しております。

また、次期の配当につきましても、上記の基本方針を踏まえ、市場環境及び業績見通しを勘案いたしまして期末に1株につき50円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年11月30日) | 当連結会計年度 (2023年11月30日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 910,919 | 1,043,816 |
| 受取手形 | 221,777 | 181,576 |
| 売掛金 | 2,631,712 | 2,898,758 |
| 製品 | 1,117,901 | 1,095,822 |
| 仕掛品 | 442,041 | 412,440 |
| 原材料 | 498,946 | 367,593 |
| 前払費用 | 13,450 | 15,346 |
| その他 | 54,219 | 6,360 |
| 貸倒引当金 | △4,850 | △5,236 |
| 流動資産合計 | 5,886,119 | 6,016,478 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物 | 2,020,523 | 2,032,515 |
| 減価償却累計額 | △1,505,032 | △1,550,188 |
| 建物(純額) | 515,491 | 482,326 |
| 構築物 | 1,010,351 | 1,036,002 |
| 減価償却累計額 | △692,813 | △713,976 |
| 構築物(純額) | 317,537 | 322,026 |
| 機械及び装置 | 7,590,294 | 7,723,021 |
| 減価償却累計額 | △6,493,040 | △6,712,155 |
| 機械及び装置(純額) | 1,097,254 | 1,010,866 |
| 車両運搬具 | 43,008 | 45,349 |
| 減価償却累計額 | △37,164 | △39,657 |
| 車両運搬具(純額) | 5,844 | 5,691 |
| 工具、器具及び備品 | 1,062,525 | 1,139,197 |
| 減価償却累計額 | △876,410 | △923,523 |
| 工具、器具及び備品(純額) | 186,115 | 215,674 |
| 土地 | 74,349 | 74,349 |
| 建設仮勘定 | 18,733 | 8,253 |
| 有形固定資産合計 | 2,215,325 | 2,119,188 |
| 無形固定資産 | | |
| その他 | 16,895 | 18,278 |
| 無形固定資産合計 | 16,895 | 18,278 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 77,404 | 105,737 |
| 関係会社株式 | 3,000 | 3,000 |
| 長期前払費用 | 15,837 | 7,899 |
| 繰延税金資産 | 92,256 | 55,215 |
| その他 | 15,985 | 16,095 |
| 貸倒引当金 | △1,300 | △1,300 |
| 投資その他の資産合計 | 203,184 | 186,647 |
| 固定資産合計 | 2,435,405 | 2,324,115 |
| 資産合計 | 8,321,524 | 8,340,594 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2022年11月30日) | 当連結会計年度 (2023年11月30日) |
|---------------|--------------------------|--------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形 | 172,690 | 126,389 |
| 買掛金 | 1,464,664 | 1,320,487 |
| 短期借入金 | 1,960,000 | 2,160,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 100,801 | 430,556 |
| 未払金 | 338,236 | 255,391 |
| 未払費用 | 195,268 | 176,029 |
| 未払法人税等 | 29,869 | 36,370 |
| 未払消費税等 | — | 107,916 |
| 役員賞与引当金 | 16,500 | 16,200 |
| 設備関係支払手形 | 109,212 | 92,435 |
| その他 | 35,173 | 40,147 |
| 流動負債合計 | 4,422,416 | 4,761,923 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 965,318 | 534,762 |
| 役員退職慰労引当金 | 102,690 | 79,950 |
| 退職給付に係る負債 | 290,979 | 194,988 |
| 長期預り金 | 89,725 | 89,858 |
| リース債務 | 37,847 | 39,486 |
| その他 | 1,200 | 1,200 |
| 固定負債合計 | 1,487,760 | 940,246 |
| 負債合計 | 5,910,177 | 5,702,170 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 610,000 | 610,000 |
| 資本剰余金 | 58,437 | 58,437 |
| 利益剰余金 | 1,686,444 | 1,881,096 |
| 自己株式 | △8,202 | △8,202 |
| 株主資本合計 | 2,346,679 | 2,541,332 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 27,233 | 46,890 |
| 為替換算調整勘定 | 37,433 | 50,201 |
| その他の包括利益累計額合計 | 64,667 | 97,091 |
| 純資産合計 | 2,411,347 | 2,638,424 |
| 負債純資産合計 | 8,321,524 | 8,340,594 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 8,368,423 | 8,610,396 |
| 売上原価 | 6,869,455 | 7,098,106 |
| 売上総利益 | 1,498,967 | 1,512,289 |
| 販売費及び一般管理費 | | |
| 販売費 | 212,303 | 203,086 |
| 一般管理費 | 992,798 | 955,287 |
| 販売費及び一般管理費合計 | 1,205,102 | 1,158,374 |
| 営業利益 | 293,865 | 353,914 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 2,193 | 2,275 |
| 受取配当金 | 2,629 | 2,631 |
| 受取補償金 | 2,384 | 1,763 |
| 為替差益 | 10,660 | 1,918 |
| その他 | 8,637 | 7,373 |
| 営業外収益合計 | 26,505 | 15,962 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 17,450 | 17,727 |
| 和解金 | — | 7,493 |
| その他 | 107 | 78 |
| 営業外費用合計 | 17,558 | 25,299 |
| 経常利益 | 302,812 | 344,577 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 19,338 | 2,565 |
| 特別損失合計 | 19,338 | 2,565 |
| 税金等調整前当期純利益 | 283,474 | 342,012 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 63,804 | 58,120 |
| 法人税等調整額 | 812 | 28,365 |
| 法人税等合計 | 64,617 | 86,486 |
| 当期純利益 | 218,856 | 255,526 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 218,856 | 255,526 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 218,856 | 255,526 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △15,180 | 19,656 |
| 為替換算調整勘定 | 16,107 | 12,767 |
| その他の包括利益合計 | 927 | 32,424 |
| 包括利益 | 219,784 | 287,950 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 219,784 | 287,950 |
| 非支配株主に係る包括利益 | — | — |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|--------|-----------|--------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 610,000 | 58,437 | 1,528,465 | △8,067 | 2,188,836 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △60,878 | | △60,878 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 218,856 | | 218,856 |
| 自己株式の取得 | | | | △134 | △134 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 157,978 | △134 | 157,843 |
| 当期末残高 | 610,000 | 58,437 | 1,686,444 | △8,202 | 2,346,679 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|----------|-------------------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括 利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 42,413 | 21,325 | 63,739 | 2,252,575 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △60,878 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 218,856 |
| 自己株式の取得 | | | | △134 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | △15,180 | 16,107 | 927 | 927 |
| 当期変動額合計 | △15,180 | 16,107 | 927 | 158,771 |
| 当期末残高 | 27,233 | 37,433 | 64,667 | 2,411,347 |

当連結会計年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|---------|--------|-----------|--------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 610,000 | 58,437 | 1,686,444 | △8,202 | 2,346,679 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △60,873 | | △60,873 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 255,526 | | 255,526 |
| 自己株式の取得 | | | | — | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | — | — | 194,652 | — | 194,652 |
| 当期末残高 | 610,000 | 58,437 | 1,881,096 | △8,202 | 2,541,332 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 純資産合計 |
|---------------------|------------------|----------|-------------------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括 利益累計額合計 | |
| 当期首残高 | 27,233 | 37,433 | 64,667 | 2,411,347 |
| 当期変動額 | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | △60,873 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | 255,526 |
| 自己株式の取得 | | | | — |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 19,656 | 12,767 | 32,424 | 32,424 |
| 当期変動額合計 | 19,656 | 12,767 | 32,424 | 227,077 |
| 当期末残高 | 46,890 | 50,201 | 97,091 | 2,638,424 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 283,474 | 342,012 |
| 減価償却費 | 396,091 | 405,732 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 494 | 386 |
| 退職給付に係る負債の増減額 (△は減少) | 16,239 | △95,990 |
| 役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少) | △23,300 | △22,740 |
| 役員賞与引当金の増減額 (△は減少) | △3,300 | △300 |
| 受取利息及び受取配当金 | △4,822 | △4,907 |
| 支払利息 | 17,450 | 17,727 |
| 為替差損益 (△は益) | △935 | 416 |
| 和解金 | — | 7,493 |
| 有形固定資産除却損 | 19,338 | 2,565 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | △290,768 | △226,845 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △589,030 | 183,032 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | 339,672 | △190,478 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △38,468 | 107,916 |
| その他 | △10,556 | 16,794 |
| 小計 | 111,579 | 542,815 |
| 利息及び配当金の受取額 | 4,822 | 4,907 |
| 利息の支払額 | △17,203 | △17,702 |
| 法人税等の支払額 | △119,995 | △52,597 |
| 和解金の支払額 | — | △7,493 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | △20,796 | 469,930 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 有形固定資産の取得による支出 | △240,621 | △377,397 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △10,052 | △673 |
| その他 | 7,735 | 7,827 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △242,937 | △370,243 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の純増減額 (△は減少) | — | 200,000 |
| 長期借入れによる収入 | 500,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △587,216 | △100,801 |
| リース債務の返済による支出 | △14,117 | △17,723 |
| 自己株式の取得による支出 | △134 | — |
| 配当金の支払額 | △60,700 | △60,617 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △162,168 | 20,858 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 17,043 | 12,351 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △408,858 | 132,896 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,319,778 | 910,919 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 910,919 | 1,043,816 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。これによる連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、有機化学工業薬品事業を中心に事業活動を展開しております。セグメント報告におけるセグメント区分は「化学工業薬品事業」及び「不動産賃貸事業」の2区分としております。

「化学工業薬品事業」はゴム薬品・樹脂薬品・中間体等の化学薬品の製造及び販売を行っております。「不動産賃貸事業」は不動産の賃貸管理事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの各項目の合計額は、連結貸借対照表又は連結損益計算書上のそれぞれの金額と一致しており、また、報告セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)

(単位:千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 |
|------------------------|--------------|-------------|-----------|-----|---------------|
| | 化学工業薬品 事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,330,389 | 38,033 | 8,368,423 | — | 8,368,423 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 8,330,389 | 38,033 | 8,368,423 | — | 8,368,423 |
| セグメント利益 | 263,439 | 30,425 | 293,865 | — | 293,865 |
| セグメント資産 | 8,250,498 | 71,026 | 8,321,524 | — | 8,321,524 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 396,091 | — | 396,091 | — | 396,091 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 381,966 | — | 381,966 | — | 381,966 |

(注) セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度（自 2022年12月1日 至 2023年11月30日）

(単位：千円)

| | 報告セグメント | | | 調整額 | 連結財務諸表 計上額 |
|------------------------|--------------|-------------|-----------|-----|---------------|
| | 化学工業薬品 事業 | 不動産賃貸 事業 | 計 | | |
| 売上高 | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 8,572,121 | 38,274 | 8,610,396 | — | 8,610,396 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | — | — | — | — | — |
| 計 | 8,572,121 | 38,274 | 8,610,396 | — | 8,610,396 |
| セグメント利益 | 323,248 | 30,666 | 353,914 | — | 353,914 |
| セグメント資産 | 8,269,568 | 71,026 | 8,340,594 | — | 8,340,594 |
| その他の項目 | | | | | |
| 減価償却費 | 405,732 | — | 405,732 | — | 405,732 |
| 有形固定資産及び 無形固定資産の増加額 | 313,545 | — | 313,545 | — | 313,545 |

(注) セグメント利益の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2021年12月1日 至 2022年11月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | アジア | その他 | 合計 |
|-----------|-----------|---------|-----------|
| 6,631,943 | 1,609,290 | 127,189 | 8,368,423 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|-----------|-----------|------------|
| 山田化成株 | 1,500,663 | 化学工業薬品事業 |

当連結会計年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：千円)

| 日本 | アジア | その他 | 合計 |
|-----------|-----------|--------|-----------|
| 7,069,040 | 1,458,996 | 82,359 | 8,610,396 |

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

| 顧客の名称又は氏名 | 売上高 | 関連するセグメント名 |
|-----------|-----------|------------|
| 山田化成㈱ | 1,701,517 | 化学工業薬品事業 |

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2021年12月1日 至 2022年11月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2022年12月1日 至 2023年11月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

| | 前連結会計年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 1,980.62円 | 2,167.14円 |
| 1株当たり当期純利益 | 179.75円 | 209.88円 |

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式がないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりです。

| 項目 | 前連結会計年度 (2022年11月30日) | 当連結会計年度 (2023年11月30日) |
|-----------------------------|--------------------------|--------------------------|
| 純資産の部の合計額(千円) | 2,411,347 | 2,638,424 |
| 普通株式の発行済株式数(株) | 1,220,000 | 1,220,000 |
| 普通株式の自己株式数(株) | 2,531 | 2,531 |
| 1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数(株) | 1,217,469 | 1,217,469 |

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2021年12月1日 至 2022年11月30日) | 当連結会計年度 (自 2022年12月1日 至 2023年11月30日) |
|----------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 218,856 | 255,526 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 218,856 | 255,526 |
| 普通株式の期中平均株式数(株) | 1,217,552 | 1,214,469 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。